令和7年度指定管理者制度導入施設モニタリング結果

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【総合政策部】

施設名	市民体育館、大里体育館、大里総合グラウンド、江南体育館、 江南総合グラウンド、籠原体育館									
指定管理者名	公益財団法人　熊谷市スポーツ協会									
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R7	76,260,000	R8	75,698,000	R9	76,661,000	R10	76,638,000	R11	76,743,000
所管課	スポーツタウン推進課									
総合評価	B									
全施設の利用者数（人）	R5	239,954	R6	255,048	R7	242,318				
全体育館の稼働率（%）	R5	75.0	R6	70.8	R7	77.5				
全グラウンドの稼働率（%）	R5	35.6	R6	37.4	R7	36.1				
総合コメント	令和7年度は現指定管理協定における1期目であり、一部業務の追加があったが、適切な管理運営がされていた。施設総利用者数においては、242,318人で、令和6年度よりも減少しているが、別府体育館が今回の協定では管理施設から外れていることから、前年度の別府体育館の利用者数を除くと、横ばい状態であった。 年間を通じて大きな利用者トラブルは発生していないという点から、常に利用者に寄り添った施設運営を心掛けていただいていることが伺える。 常にスポーツ庁の動向や他市町村の事例を注視し、情報収集を心掛けており、所管課との共有を図っている。空調設備のない現在の施設における熱中症対策については大きな課題として認識し、注意喚起の徹底や大型冷風機の導入等、今できる対応を徹底していることは高く評価できる。 引き続き高い水準で、適切な維持管理を継続していただき、質の高い管理運営を心掛けていただきたい。									

【市民部】

施設名	市民活動支援センター									
指定管理者名	特定非営利活動法人NPOくまがや									
指定期間	令和7年4月1日～令和9年9月30日（2年6か月間）									
指定管理料（円）	R7	13,348,000	R8	13,669,000	R9	7,583,000				
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用者の数の推移（人）	R5	12,041	R6	12,250	R7	12,858				
登録団体の数の推移（団体）	R5	292	R6	300	R7	305				
総合コメント	自主事業として、市民活動のためのスマホ活用相談会やチラシ作成相談会等、スタッフの経験を活かした講座の開催に取り組み、利用者数の増加を実現した。 また、平等・公平な申請事務を行っており、利用者とのトラブルが発生しないよう配慮していた。 施設内は、利用者が使用しやすいように保たれており、管理運営についても、ローテーションにより業務に支障がないよう対応していた。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。									

◎　総合評価について
Ａ・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
Ｂ・・・・・適正な水準を維持している。
Ｃ・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
Ｄ・・・・・改善が必要

施設名	コミュニティセンター										
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会										
指定期間	令和７年４月１日～令和９年９月３０日（２年６か月間）										
指定管理料（円）	R7	13,897,000	R8	13,897,000	R9	7,306,000					
所管課	市民活動推進課										
総合評価	**B**										
利用件数の推移（件）	R5	1,544	R6	1,610	R7	1,702					
利用者の数の推移（人）	R5	11,166	R6	11,124	R7	12,311					
総合コメント	申請事務は平等・公平に行っており、利用者とのトラブルもない状況であった。 老朽施設であるが、不具合・故障等がみられる箇所の修繕を行い、利用者が使用しやすいように保たれており、管理運営についても、ローテーションにより適正に対応していた。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。										

施設名	大里ふれあいセンター										
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター										
指定期間	令和５年４月１日～令和１０年３月３１日（５年間）										
指定管理料（円）	R5	8,160,000	R6	8,230,000	R7	8,370,000	R8	8,590,000	R9	8,650,000	
所管課	市民活動推進課										
総合評価	**B**										
利用件数の推移（件）	R5	328	R6	352	R7	312					
利用者の数の推移（人）	R5	3,819	R6	4,330	R7	3,360					
総合コメント	申請事務は平等・公平に行っており、利用者とのトラブルもない状況であった。 また、自主事業として、令和７年度から地元住民を対象にパソコン教室を開催し、市民サービスの向上を図った。 管理運営についても、ローテーションにより適正に対応していた。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	葬斎施設									
指定管理者名	五輪・宮本・東京ワックスグループ									
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R6	83,381,804	R7	83,808,736	R8	84,497,875	R9	84,710,615	R10	85,179,215
所管課	市民課									
総合評価	B									
火葬件数（件）	R5	2,620	R6	2,696	R7	2,567				
式場利用状況（件）	R5	713	R6	721	R7	703				
総合コメント	令和7年度は、指定管理更新2年目であり、前年同様、主要業務である火葬業務、斎場業務において、大きな問題もなく安定した業務運営ができている。 今年度は、斎場予約システムのバージョンアップの実施、大規模な火葬炉付帯設備修繕を実施したが、施設運営等への影響もなく問題なく履行できた。 また、今年度、市の事業で遺体保冷庫を1台増設したことにより、市民の利便性が向上した。 総合的に判断し管理者として適正な水準を満たしている。									

【福祉部】

施設名	老人福祉センター（上之荘・ひかわ荘・江南荘）									
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R5	90,351,000	R6	91,010,000	R7	91,817,000	R8	92,619,000	R9	93,303,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R5	49,333	R6	56,816	R7	45,091				
1日平均利用者数（人） 【3施設合計】	R5	168	R6	195	R7	154				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者は上之荘2,794人の増、ひかわ荘2,213人の増となった。江南荘は耐震補強工事のため快感が2カ月のみとなり、16,732人の減となった。 上之荘では浄化槽の故障があり、修繕が必要な状態が生じたが、指定管理者と連携を取りながら継続して対応している。 防災訓練を年2回実施したり、普通救命講座を受講し、危機管理についても体制を整えている。									

◎　総合評価について
Ａ・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
Ｂ・・・・・適正な水準を維持している。
Ｃ・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
Ｄ・・・・・改善が必要

施設名	箱田高齢者・児童ふれあいセンター									
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	令和５年４月１日～令和１０年３月３１日（５年間）									
指定管理料（円）	R5	12,300,000	R6	12,150,000	R7	12,330,000	R8	12,510,000	R9	12,710,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R5	8,226	R6	11,210	R7	13,982				
１日平均利用者数（人）	R5	29	R6	39	R7	45				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は2772人の大幅増となった。 利用者のサービス向上のためロビーを整理し、利用者の利便性の向上に努めた。 また、玄関ロビーに沸心古流の生け花を月３回のペースで展示し、施設イメージの向上に努めた。 自主事業として、世代間交流を行ったり、フレイル予防教室を行ったりしている。 児童館と合同の避難訓練を実施したり、消防法に基づき消防設備点検を実施したりと防災への意識啓発を図った。									

施設名	老人憩の家荒川荘									
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月３１日（５年間）									
指定管理料（円）	R4	1,937,000	R5	1,968,000	R6	2,000,000	R7	2,031,000	R8	2,064,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R5	2,204	R6	1,206	R7	1,156				
１日平均利用者数（人）	R5	8	R6	4	R7	4				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は50人の減となった。 市民対象のフレイル予防教室と指導者研修会を毎月実施し、フレイル予防健康づくり教室の普及と指導者の育成を図った。 施設内外の維持管理に努めており、老朽化した施設ながら利用者が利用しやすいように努めている。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	老人憩の家平戸荘									
指定管理者名	熊谷市平戸自治会									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	1,790,000	R5	1,831,000	R6	1,831,000	R7	1,856,000	R8	1,892,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R5	3,914	R6	2,874	R7	2,629				
1日平均利用者数（人）	R5	13	R6	10	R7	9				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は245人の減となった。 自主事業計画について開催はできなかったが、公園の清掃等地域コミュニティ活動に寄与しており、地域のコミュニティ施設としての役割をはたした。 毎日の清掃の外、定期的な除草剤の散布、植栽の剪定及び手入れなどを行い、快適・清潔で利用しやすい施設内外の環境整備のために配慮している。 市と協力しながら、指定管理者で自主的に管理運営を行っている。									

施設名	老人憩の家吉岡荘									
指定管理者名	有限会社後藤衛生コンサルタント									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	1,780,000	R4	1,800,000	R5	1,820,000	R6	1,840,000	R7	1,860,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R5	4,752	R6	4,827	R7	5,064				
1日平均利用者数（人）	R5	18	R6	19	R7	19				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は237人の増となった。 施設の広報活動、自主事業の企画などに積極的であり、老人憩の家3施設で最も利用者数が多い。 指定管理者で自主的に防犯・防火・防災の対策を充実させた危機管理マニュアルの徹底を図り、管理人の危機管理に関する知識向上、意識啓発を図った。 施設内は常に清潔に清掃されており、節電・省エネルギーにも努めている。									

◎　総合評価について
Ａ・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
Ｂ・・・・・適正な水準を維持している。
Ｃ・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
Ｄ・・・・・改善が必要

施設名	障害福祉会館										
指定管理者名	特定非営利活動法人熊谷市身体障害者福祉会										
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）										
指定管理料（円）	R5	7,571,000	R6	7,571,000	R7	7,658,000					
所管課	障害福祉課										
総合評価	B										
利用者数の推移（人）	R5	11,835	R6	11,127	R7	14,064					
利用料金の推移（円）	R5	158,480	R6	123,040	R7	161,840					
総合コメント	貸し館業務において、心身に障害のある方の利用が中心となること及びその他地域の活動の拠点としての役割を自覚し、年間を通して苦情もなく円滑に運営されていた。年間利用者数は 14，064人で、昨年度比で約2割増となった（2，937人増加）。 施設は、建築から50年が経過して老朽化し、修繕の必要な箇所があるが、令和7年度は館内照明設備のLED化及び正面玄関前点字ブロックの改修など、適宜修繕工事を行い、施設の維持を図りつつ、適正に管理が行われていた。 貸会議室等も常に清潔に保たれており、感染症対策も適切に行われていた。 また、会館が本市指定の「福祉避難所」であることから、自主的な備蓄用品の確保や施設入口には障害のある方向けの防災グッズの展示を行うなど、利用者へ防災に対しての広い啓発を行うなど、危機管理に対する意識も高かった。 その他指定管理者の経営基盤は安定しており、以上から総合的に適正な水準を維持していたと認められる。										

【こども健康部】

施設名	健康スポーツセンター										
指定管理者名	株式会社ジェイレック										
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R3	44,200,000	R4	44,200,000	R5	44,200,000	R6	44,200,000	R7	44,200,000	
所管課	健康推進課（令和7年度は「健康づくり課」）										
総合評価	C										
利用者数の推移（人）	R5	81,543	R6	92,528	R7	96,572					
施設利用収入（円）	R5	26,788,680	R6	30,472,970	R7	31,658,890					
総合コメント	窓口やアンケート調査における利用者からの意見に柔軟に対応し、サービス向上に努めた。 年間の施設利用者数は前年度比104.4%の4,044人の増加となった。自主事業である各種教室事業等を積極的に実施し、自主事業の利益も増加した。 設備の定期点検等は仕様書に基づき適切に行われた。8月にクアプール施設で衛生基準を満たさず改善が必要な状態となったが、その後の清掃により状況が改善し、現在は適正な水準を維持している。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【産業振興部】

施設名	商工会館										
指定管理者名	熊谷商工会議所										
指定期間	令和6年4月1日～令和7年10月31日（1年6カ月間）										
指定管理料（円）	R6	2,800,000	R7	2,100,000							
所管課	商業観光課										
総合評価	B										
会館利用件数（件）	R5	3,274	R6	3,224	R7	2,081					
使用料収入（円）	R5	4,556,725	R6	4,580,370	R7	3,085,815					
総合コメント	貸館業務について減免対象となる公的利用も多い中、利用件数を保ち、安定的な運営を行っている。 なお、令和7年度の実績は4月から10月末までの半年間分である。 施設の老朽化が著しいが、定期的な保守点検や職員によって適宜点検が行われており、問題点を早急に発見し及び解決するように努めている。 総合的に判断し、適切な水準を維持している。										

【都市整備部】

施設名	熊谷運動公園										
指定管理者名	シンコースポーツ・熊谷ハートフルグループ・ジョンソンコントロールズ共同事業体										
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R4	184,800,000	R5	182,118,245	R6	182,007,000	R7	184,800,000	R8	184,800,000	
所管課	公園緑地課										
総合評価	B										
利用者数（人） （有料施設）	R5	249,090	R6	275,961	R7	279,604					
上記の内室内プールの利用者数（人）	R5	53,946	R6	59,550	R7	60,654					
総合コメント	令和7年度は指定管理期間（5年間）の4年目に当たり、指定管理者制度導入後通算17年目であり、これまでの経験を活かした適正な施設の管理運営が行われていた。 利用率では、有料施設全体の利用者数が279,604人で前年度より約1%増加、利用料金収入は1%増加したが、いずれも昨年度より微増であった。自主事業では、13,000人以上が来場するイベントをはじめ、多くの世代の方が来場するよう工夫を凝らした事業の実施や地域の方と連携した事業の実施などにより、公園利用者数等の増加に向けて取り組んでいた。 また、7月にオープンしたじゃぶじゃぶ池やスケートボードパークについても、適切な維持管理を行っており、来園者が安心して施設を利用いただけるよう運営できている。 以上のことから、利用者のサービス向上、施設維持管理等について適切な管理運営を行っていると評価でき、B評価とした。 最後に、指定管理期間の5年目となる令和8年度は、これまで培ってきた経験をもとに、より安全、快適に利用いただけるよう施設整備の充実・維持管理にも引き続き注力してもらい、サービス向上に資する施設運営に期待したい。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	江南総合公園										
指定管理者名	特定非営利活動法人　グリーンアップ熊谷										
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R3	13,060,000	R4	13,060,000	R5	13,100,000	R6	13,240,000	R7	13,240,000	
所管課	公園緑地課										
総合評価	**B**										
利用人数（人）	R5	29,097	R6	27,735	R7	23,253					
利用料金収入（円）	R5	377,670	R6	443,870	R7	392,980					
総合コメント	指定管理者として3期目、令和7年度は指定管理期間（5年間）の最終年に当たり、これまでの経験を活かした適切かつ円滑な施設運営を行っていた。 公園利用者数は4,482人減少（前年度比：83.8%）、利用料金収入は50,890円減少（前年度比：88.5%）した。 江南総合公園の特色を活かした自主事業として、「たけのこ堀」、「サッカースクール」を開催しており、インターネットの記事に「たけのこ堀」が掲載されたことで、例年より多くの利用者が訪れてトラブルが発生することもあったが、適切に対応をして事業を運営していた。 巡回や声掛けを積極的に行い、利用者の目線に立った施設運営ができていたことから、評価はBとした。										

施設名	妻沼運動公園,利根川総合運動公園,妻沼東運動公園,妻沼西第一公園, 妻沼西第二公園,妻沼西第1緑地,妻沼西第2緑地,妻沼西第3緑地, 妻沼西第4緑地,妻沼西第5緑地,別府沼公園										
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社										
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R4	105,098,000	R5	104,567,000	R6	104,632,000	R7	104,762,000	R8	104,741,000	
所管課	公園緑地課										
総合評価	**B**										
利用人数（人）	R5	106,428	R6	114,253	R7	109,735					
利用料金収入（円）	R5	6,525,790	R6	6,658,600	R7	6,895,080					
総合コメント	指定管理3期目4年目であった本年度は、利用者数が昨対4，518人減少したものの、利用料金は昨対272，240円増となり、安定した利用料金の収入であった。来年度は指定管理期間の最終年度となるので、これまでの蓄積した経験を十分に発揮してもらい、稼働率や利用料金等収入のさらなる向上に取り組んでほしい。 自主事業については、地域に根ざしたイベントや他の施設では実施していないような新しい内容の事業等に注力しており、利用者から高い満足度の評価を受けているようである。 本年度も光熱費等の高騰があったが、予算を大きく超過することなく施設を運営できた。維持管理や受付等の業務は仕様書等に基づき適切に行われ、大きな事故やトラブル等もなく、適正な公園の運営を維持していたことから、評価はBとした。										

◎　総合評価について
Ａ・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
Ｂ・・・・・適正な水準を維持している。
Ｃ・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
Ｄ・・・・・改善が必要

施設名	中央公園、熊谷荒川緑地、村岡荒川緑地、久下荒川緑地										
指定管理者名	グリーントライアングル熊谷										
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)										
指定管理料(円)	R7	43,950,000	R8	41,441,200	R9	42,600,200	R10	42,993,000	R12	44,015,600	
所管課	公園緑地課										
総合評価	**B**										
緑化センター利用人数（人）	R5	18,010	R6	15,631	R7	18,601					
荒川緑地利用人数（人）	R5	276,898	R6	301,519	R7	258,451					
総合コメント	指定管理3期1年目であった本年度は、自主事業によるキッチンカーの出店、花の種配布事業、樹木に親しむ講座の開催等、積極的に魅力ある公園づくりや緑化推進事業を行った。 今年度から、大型のパラソルとテーブル、ベンチが設置され、日陰を創出することで夏季でも快適に利用できるように務めていた。 施設の利用状況では、緑化センターが2,970人増（前年比119.0%）、荒川緑地が43,068人減（前年比85.7%）であった。 過去の指定管理の経験を活かした適切かつ円滑な施設運営を行っていたことから、評価はBとした。										

【妻沼行政センター】

施設名	妻沼勤労福祉会館										
指定管理者名	くまがや市商工会										
指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日（5年間）										
指定管理料(円)	R7	2,440,000	R8	2,440,000	R9	2,440,000	R10	2,440,000	R11	2,440,000	
所管課	妻沼行政センター										
総合評価	**B**										
利用回数(回)［利用状況報告書より］	R5	298	R6	255	R7	264					
利用人数(人)［利用状況報告書より］	R5	6,218	R6	5,556	R7	6,280					
総合コメント	指定管理者は当該施設内に事務所を構えており、職員の日常清掃等による衛生管理、日常点検による安全管理や効率的な運営を行って利用者の利用性向上に努めている。 また、利用者数を増加させるため商店街の振興や観光振興に関わる研修会、勤労者を対象とする研修等の商工会自主事業も開催している。 指定管理者が適切な体制で運営し対応しているため、利用者からの苦情等についてはない。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【教育委員会】

施設名	熊谷文化創造館、大里生涯学習センター、江南総合文化会館									
指定管理者名	公益財団法人熊谷市文化振興財団									
指定期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R7	261,750,000	R8	265,560,000	R9	268,830,000	R10	271,430,000	R11	274,430,000
所管課	社会教育課									
総合評価	B									
自主事業入場者数（人）	R5	17,176	R6	15,852	R7	17,210				
施設利用賞金収入（円）	R5	40,239,580	R6	43,093,520	R7	43,028,005				
総合コメント	3館施設とも確実な管理運営がなされており、適切に貸館業務及び自主事業を実施した。施設利用料金収入は、43,028,005円で、前年度とほぼ同額だった。自主事業は、前年度より3公演多い23公演を実施した。そのうち8公演が完売であったことは評価できる。 施設利用者に対しては、親切丁寧な利用案内を行い、利用者サービスの向上に努め、施設・設備の維持管理、清掃等も適切に行った。今後も、利用者が安心・快適に利用できるよう、適切な管理運営がなされることを望む。									

施設名	スポーツ･文化村									
指定管理者名	アイル・オーエンスグループ									
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R7	98,862,000	R8	102,500,000	R9	106,346,000	R10	110,385,000	R11	114,625,000
所管課	社会教育課									
総合評価	B									
施設利用者数（人）	R5	200,266	R6	212,101	R7	232,863				
自主事業参加者数（人）	R5	2,671	R6	2,015	R7	1,183				
総合コメント	年度を通して適正かつ効率的に管理運営がなされた。また公平公正な施設利用の促進に努めた。 施設利用は、令和6年度と比較し、利用者数は20,762人増加し232,863人、利用件数は184件増加し13,486件となった。 自主事業参加人数は、832人減少し1,183人の参加となった。これは、貸館施設利用者の増加に伴い自主事業の開催室場、規模を見直し、貸館施設の確保を目的とした減少となった。 施設の運営については、利用件数が増える中、窓口での対応を丁寧・迅速に行い、利用者の利便性向上に努めた。 施設管理については、保守点検・設備修繕を滞りなく実施し、清掃においても常に良好な状態に保っており、利用者の安心安全に努めた。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	荻野吟子記念館									
指定管理者名	NPO法人めぬまガイドボランティア阿うんの会									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	3,790,000	R5	3,850,000	R6	3,940,000	R7	4,020,000	R8	4,100,000
所管課	妻沼中央公民館									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R5	6,076	R6	5,740	R7	5,478				
団体数（団体）	R5	57	R6	50	R7	45				
利用者数のうち団体人数（人）	R5	1257	R6	1125	R7	910				
開館日数（日）	R5	309	R6	308	R7	309				
1日当たりの来館者数（人）	R5	19.66	R6	18.64	R7	17.73				
総合コメント	・令和7年度は、指定管理2回目の4年目であり、長年のガイド・館の管理の実績を生かしてスムーズな運営がなされていた。また、新人研修会等の研修を行い、ガイド内容の向上を図るとともに、定例打合せ会議を行い、管理に係る管理者間の共通認識を図ることに努めている。 ・館内外の環境美化にも努め、休館日に清掃作業や植栽を行っている。 ・団体の申込がある場合は、説明者の人数を増やして対応している。 ・定期的に吟子紙芝居班（女性会員）が読み合わせ会を行い、館や出前授業での紙芝居技術の向上に努めている。また、令和7年度から埼玉三偉人である渋沢栄一や塙保己一とも抱き合わせで紙芝居や出前授業を行うなど工夫がなされている。 ・市内外の公民館や児童クラブ、市外小学校、福祉施設へ積極的に出向き、出前授業や講演を行っている。また、熊谷市観光協会熊谷駅観光案内所での荻野吟子関連グッズの販売、イベント企画のチラシの配布など、積極的に多くの人に吟子を広める努力を行っている。									